

「来月2年ぶり地元の舞台へ」

スーパーストリングスコーベ(提供写真)



弦楽オーケストラ スーパーストリングスコーベ

神戸

来月2年ぶり地元の舞台へ

兵庫県立芸術文化センター(西宮市)芸術監督で、指揮者の佐渡裕さんが育てたメンバーでつくる神戸の弦楽オーケストラ「スーパーストリングスコーベ」が8月11日、2年ぶりに地元の舞台に立つ。活動を制限されてきた国内外の奏者が久々に合流し、神戸新聞松方ホール(神戸市中央区)で再出発の音色を奏でる。
(津谷治英)

「再開喜ぶファンに、いい演奏を」

同オーケストラは、佐渡さん率いる「スーパーキッズ・オーケストラ」のOB、OGが集い、2017年にデビュー。18〜32歳の約50人が所属し、神戸をはじめ国内各地で演奏してきた。メンバーは普段、日本のほかオーストリア、フランス、ドイツなどヨーロッパで研さんを積むが、欧州のメンバーはロックダウン(都市封鎖)などに直面し、厳しい活動制限を経験したという。

さらに、スーパーストリングスコーベが神戸で年2回開いてきた公演も中止に。それでも昨年春、日本に最初の緊急事態宣言が出た頃、国内と海外のメンバーが団結した。各自が自宅や寮で演奏画像を撮影したものを編集し、動画作品を創作。ラグビーワールドカップ日本大会のテーマ曲として、動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開している。その後、も現在まで、クラシックなどの動画配信が続いている。

今回は多くのメンバーが参加し、神戸公演を実現。ゲストにデンマーク在住で、海外のオーケストラとの協演経験が豊富なトロンボーン奏者、玉木優さんを招く。

テーマは「スーパー・ワールド・オブ・ロック」。世界に元気を取り

玉木優さん(©Patricio Soto)



戻してほしいと、英米の80年代ロック作品を選んだ。ジェフ・ベック&ロッド・スチュワートの「ピープル・ゲット・レディ」、メタリカの「マスタ・オブ・オブ・パベッツ」など。その他、弦楽作品も演奏する。

プロデューサーの池田明子さんは「会員制交流サイト(SNS)では、公演再開を喜ぶファンの声を聞く。いい演奏を披露したい」と話す。午後6時開演。3千〜4千円。神戸新聞松方ホールチケットオフィス ☎078・362・7191

78・362・7191